

地域委員長・副委員長会議の開催結果について

日時：平成 21 年 12 月 18 日

場所：川口町交流体験センター「やまぼうし」

内容：第 1 部

川口町の総代 6 名を招待し、地域づくりの取り組みに関する意見交換を実施。

- ・川口町の地域づくり活動紹介 えちご川口交流ネット R E N 水落代表
- ・長岡市の取り組み紹介
「はちすば通りについて」 和島 竹内委員長
「コミュニティづくりについて」 三島 片野委員長

その他のまちづくりについて

- ・川口町中山地区では、自分達の地域は自分達で守るという考えがあり、その中で国道に花を、地域に花を、沿線に花を植えるということをはじめた。何を中心にしてやるかといった時に、若者から老人まで楽しめるのは花だったので、私達の地域は花を選びました。活動している団体の一部が県から表彰を受けました。
- ・栃尾も、みんなで協力しなければできないという状況にあります。地域、地域だけではなく、全部が協力し合うところが栃尾のいいところです。一方で、外から来るといいところだねと言われるのですが、反対に外に出ないという点が困るのです。
寺泊が遠い存在だったのですが、山の子が海に行く、寺泊の子が山に遊びに来るというように、長岡市になって大きなところを見られるのも良かったと思っています。
- ・小国でもフラワーロードとしてサルビアの花を植えています。おそらく 10 年くらい前からですが、集落とか地域の団体が植えて管理をしています。
外から来る人達からすごいねと言われて、これからも継続していきたいという気持ちが結束した力に結びついているのかなと思います。
また、NPO 法人 M T N サポート (もったいないサポート) が立ち上がり、道の駅づくりに取り組んでいます。野菜などの生産販売を去年頃から始めており、地域委員の人達も協力しながら合体した中で進めて行けば農村といえども生きる道が見出せるのではないかなと思っています。

川口町からの地域委員会に関する質問

各集落の代表として総代が町とのパイプ役になっていると思うのですが、この地域委員会は全く目的を異にする方々の集まりだと理解してよろしいのでしょうか。

事務局の説明

それぞれの地域の区長・総代は、きっちり自分の地域を管理する役を全うするという事です。行政の事務の委託が主になります。

地域委員会は 14 人の方は地域代表ということで区長さんからの推薦で就任される方もいますし、学識経験ということでいろいろな団体の方から推薦をいただいで就任している方もいらっしゃいます。

区長・総代と違うのは、地域全体の町づくり、これからの町づくりについて自分達がどうしていくんだということを考えていただくところです。

地域委員会は議会とは違って、市長の附属機関です。役割は市からの総合計画をどう考えますかという諮問の答申があるほか、大きな役割として、これからの川口を自分達はどのようにしていくのかという話をする場ということになります。

いずれにしても大事なことは同じ町の中なので、地域委員会と区長会・総代会がいかに情報交換をして町が一つになって地域づくりをするかということが、これからの課題になると思います。

補足説明

一つは長岡市の総合計画があって、この地区はどうしたらいいんだという時に、川口はこういう町にしたらいいのではないですかという意見を言っていただくというもの。

もう一つは町づくりというと橋や川や道路を作るということをイメージしがちですが、私たちが生きていくうえでの環境を整えていく、良くすることにあります。

例えば、子供たちがのびのびと育つためにはどうしたら良いか。その場合は、スポーツを振興するためのスポーツ団体、感情面・情操面では芸術団体などが集まって、良い環境を形成していくことであり、それが町づくりです。

地域委員会はどちらかという、そういう方々が集まって自分達ができることは何だろうと考えることです。市長がよく言われる「橋が狭いから歩道を作ってよ。子供たちが危ないでしょ。」の場合、一番簡単なのは歩道橋を作ること、でも、目的は子供たちを安全に向こうに渡らせるためだから、セーフティリーダーというお年寄りが旗を持って子供たちを渡らせるのも一つです。そういうことを考えるのも町づくりであり、地域委員会というのは、そういうものを目指しています。

旧長岡市には、子供を見守る福祉会やスポーツの会合、生け花の会などの団体が自主的に活動し、コミュニティセンターという形になっています。それが、長岡の地域委員会みたいなものであり、町内の道路や側溝が壊れたなどの話は町内会長が受け持ち、自分達の地域を良くしようというのはコミュニティセンターを中心に活動していくことになります。行政の理想は、地域委員の方々を中心として、このような町づくりへと移行していただきたいということです。

第2部 ワークショップ

正副委員長が、4つのグループに分かれて以下の項目についてグループ討議を実施し、最後に発表していただいた。

なお、議論を深めるために配布した論点整理票を、参加者全員が作成したうえで議論に参加している。

地域委員会で取り組んでいるテーマ

地域委員会を運営していくうえで、工夫されていること、工夫していきたいと考えているもの

地域の住民活動を活発化させていくために地域委員会で取り組むべきもの
合併後のまちづくりで、取り組みが進んできたと思われること

- ・ワークショップの結果：別紙のとおり
- ・論点整理票の集計結果：別紙のとおり